

事務長の

孤独のグルメ



今回の孤独のグルメは… ラーメンルームワンエイト (RAMEN ROOM 18)

冬はふーふー。夏はズルズル。気温が上がってきた。出汁の摂取が命の俺にとって、夏は過酷な季節だ。つけ麺の最大の問題は、つけ汁が“しょっぱくて飲めない”こと。この悩みを解決してくれる救世主こそ、2度目の登場「RAMEN ROOM 18」。夏でも熱々の出汁をしっかり摂取させてくれる…感謝しかない。つけ麺はズルズルいける。ふーふーしない。冷たい麺は、水の使い方が勝負だ。大量の水でゴシゴシ洗えば、確かに冷える。でも風味が飛ぶ。逆に冷やしが甘いと、麺の余熱で伸び始める。このあたりに、職人のテクニックが光るのだ。RAMEN ROOM 18の2種類の麺は、絶妙な冷え加減。「こんなもん、うまいに決まってるんだろ!」——と、思わず『おいしい給食』の市原隼人ばりに叫びたくなる。食後には、出汁スープを必ず注文。さらに肉めしを頼み、つけ汁+岩海苔入りスープを回しかければ…まるで“ひつまぶしの肉飯版”。ラーメンに、レンジ不要派の俺も、このときばかりはレンジで一心不乱に拘う。出汁。肉。飯。出汁。肉。飯…旨味の無限ループに、今日もきっちり仕上げられた。



SHOP DATA



ラーメンルームワンエイト (RAMEN ROOM 18)

〒041-0812 北海道函館市昭和2丁目1-23

シュン デンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町461-38 ☎0138-47-3737

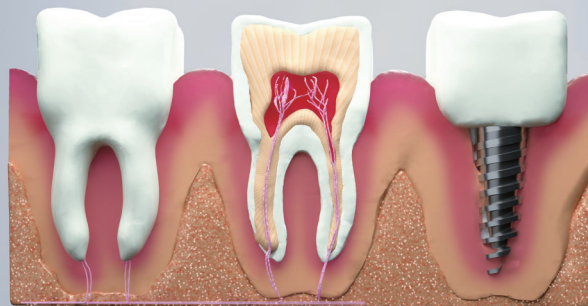
<http://shundc.jp/>



HPはこちら

シュン デンタル タイムズ

SHUN DENTAL CLINIC TIMES



2025
9-10
No.076

神経、残せるものなら残したい理由。

神経、残せるものなら残したい理由。

今回は、虫歯治療における“神経を残す”ことの大切さについてお話しします。

神経=いらないもの？

虫歯が進行してくると、「神経を取るしかありませんね…」と言われることがあります。

その言葉に、なんとなく“仕方ない感”を持ってしまう方も多いですが…

実は、神経ってめちゃくちゃ大事なんです！

なぜなら—— **神経がある歯は「生きた歯」**だから。



神経を取るとどうなるのか？

Case
1

歯の色が
変わりやすくなる



Case
2

歯がもろくなり、
将来折れたり割れたり
しやすくなる



Case
3

外からの刺激
(噛み合わせなどを
感じづらくなり、
知らない間に
ダメージが蓄積する



Case
4

最終的に、
抜歯のリスクが
高くなる



神経を取る治療(根管治療)は、もちろん正しく行えば痛みは取り除けます。
でもそれは「延命処置」であって、健康な状態に戻るわけではないのです。

私たちのこだわり

当院では、可能な限り「**神経を残す治療**」を心がけています。

神経にギリギリで虫歯が迫っている場合でも、MTA(歯科用の特殊な薬剤)などを用いて、神経を保護する治療を選択することがあります。これは、一歩先を読む虫歯治療です。

神経を残した後に起こること

神経を残せた場合でも、まれに知覚過敏のように冷たいものや熱いものでしみる症状が出る場合があります。

これは、**歯の中で第二象牙質という新しい壁を作って神経を守ろうとする自然な反応の途中**で起こるものです。

時間の経過とともに落ち着くことが多いですが、必要に応じてしみ止めの処置を行います。

歯の未来は「選択」で変わる

虫歯になった時点で、すでに「**歯の未来**」は分岐しています。

“削るか、削らないか。” “取るか、残すか。”

私たちは常に、“**できるだけ残す**”選択肢を検討する治療を大切にしています。

最後にひとこと

痛みが出たときには、すでに神経はギリギリか、それ以上。
だからこそ、「あれ?ちょっと変かな?」と思った時が**大事なタイミング**。

早めの受診が、あなたの歯を守るベストな方法です。

今月も、あなたの“歯の相棒”でいられますように。